

# 本 樂 が ま に ゆ た り と

さわやかテラス春日  
入居者 Aさん（九十八歳）作

## さわやか通信

平成 31 年 4 月 1 日発行

No.19

### 株式会社ウェルフェアネット

会社設立 平成 12 年 12 月  
代表者 代表取締役 平山正明  
事業内容 福祉事業全般 築紫地区を中心に  
グループホーム 小規模多機能型居宅  
介護施設の運営を主たる事業としている  
住み慣れた地域で安心して健やかに暮ら  
せる老後をお手伝いします  
利用者おひとりおひとり、その人らしい  
生活に日々「寄りそ」



絵・児玉千佳子

## 新年度をむかえて



さわやかテラス・  
さわやか憩いの家  
代表 平山 正明

「あの日あの時」さわやかテラスを開設し、入居者の方を迎えた二十年前、「スケジュールを決めず」「鍵をかけない」地域に根差した普通の場所にと考へ、「平成」の時代をさわやかテラス・さわやか憩いの家の入居者・利用者・ご家族・そして地域の方の理解があり、これまで歩んでくることができました。

この広報誌が皆様の手元に届く頃には、新しい元号が発表されているかと思います。不安ばかりが先に立ち、社会保障制度も不安定で、世界から日本が辿る道を眺められているというのだが、本當だと感じています。「世界が近く感じる時代」が到来していると言われますが、世界各国から日本の隅々を観光客が訪れる姿もありながら、就労する国としても注目を集め、この介護業界にも数年前から外国人労働者を受け入れながら、人材不足を補つてきています。また、介護士の卵を受け入れる福祉の学校でも、大半は外国人留学生が学んでいると聞きます。これらの方達とも付き合いながら、互いの文化や風習、風土も理解し

合「う」とが求められます。

さて、さわやかテラスが間もなく開設して、二十年を迎えるとしています。

これまで、十年目には地域の方を招いて「記念講演会」を開催し、現在の日本経済大学をお借りして、七百名の地域の方や関係者の方にお越しいただきました。

また、十五周年には、『鍵をかけないケア』の本を出版することができ、現在でも、反響をいたでています。この本を出版したことで、家訓にある「あるがままに 楽しく ゆつたりと」を具現化するためのスタッフ教育に用いて、「よみとき」を続け、ケアの根柢や「人」を考える努力をすることに繋がっています。

そして、今年は、二十周年のプロジェクトを企画し、入居者・利用者・ご家族の皆様・地域の方へ感謝を還元した内容を考えています。

様々な課題が山積みではあります、これまでのケアを「継承」として、スタッフひとりひとりが生き生きと働くことができ、新時代の幕開けを前向きに捉え、時代と共に受け入れながら、今後も邁進したいと考えています。これからも、よろしくお願ひいたします。

今後ともよろしくお願ひ致します。

(さわやか憩いの家二日市責任者 井上 正義)

## さわやか憩いの家二日市の十年



\*ちょっと深イー話\*

さわやかテラス大野城にAさんという方がおられた。いつも笑顔でみんなに優しくて私たちに元気をくださる、テラスには欠かせない存在だった。

平成二十一年六月に「さわやか憩いの家二日市」を開設し、十年になります。改修型の事業所で、ご近所の方の自宅を改修したので、間取りも併まいもそのままです。当初は、登録人数も十二名と少なく、一日通える人数も六名程度でした。最初は利用者の方も一名で、小規模多機能居宅介護施設というものが、どのようなサービス形態なのかも周知がなく、我々も手探りで、困った記憶が残ります。その中でも、「自宅で暮らし続けるために」「ご本人はご飯は食べとうないけれど皆の顔が見たい」と以前の様にリビングで過ごされたり、娘さんと居室で過ごされたりして、それでもいつも笑顔で皆に優しく接してくださる姿はいつものAさんだつた。私たちに出来ることは寄りそい、見守る事がだつた。死期を悟ったAさんの強い思いを感じ、多くを学ばせて頂いた。

今までにもみどりを経験してきたが、ひとつとして同じみどりはない。そこにその方やご家族の生き方や思いを感じることが多い。ここで暮らす皆さんの「あるがまま」を受け入れ、最期まで生きることを支え続けていくたいと思う。

(さわやかテラス大野城 石丸 雄司)

## 【韓国研修】

今年は十年勤務のスタッフ二名が十一月十五日から十八日の四日間、韓国研修に行かせていただきました。

清岩の特別養護老人ホーム、松坡老人総合福祉館の見学をさせて頂きました。研修では互いの施設での取り組みについて発表しました。私たちは新オレンジプラン、地域密着型の地域の中の施設について発表をしました。松坡老人総合福祉館の方の発表は、独居の方の支援についてでした。韓国は、超高速で高齢化が進んでおり、構成などの政策を樹立しています。福祉館では独居の方を訪問するスタッフが多くて、その方の生活の現状をしっかりと把握されていました。また、その方に合った支援をするために、事業形態までつくれられていました。とても柔軟で長くご自宅で暮らす為のサービスが発達していると感じました。

韓国での取り組みを学び、住み慣れた地域との関わりを大切にし、まずはその方をよく知り、ご本人のできることを活かしていかなければと改めて思いました。



(さわやかテラス二日市 古賀 伊織)



## 【ホスピス緩和ケア・ネットワーク 福岡公開講演会 2018】

福岡公開講演会 2018】



## 【佐賀県社会福祉協議会講演会】



「鍵をかけないケア」の本を読み是非とも講演して欲しいと佐賀県社会福祉協議会のご招待を受け、「一月六日に佐賀県老人福祉施設協議会の地域密着委員会四十名に統括執行役員の山城が講演を行いました。

十五年目を迎えるさわやかテラス・さわやか憩いの家の成り立ちから平山さんの今後を見通しを考えや、入居者・利用者より教えてもらつた「あるがままに楽しくゆつたりと」の家訓が今の寄りそつたケアに繋がっていること、スタッフのキャリアアップのために取り組んでいる事を本の内容を通して講演しました。講演を通じて講演しました。

決めているから時間に追われて余裕がないようになる。講演を聞き入居者に合わせて柔軟に取り組むことができる」とを学んだ。または是非とも見学してみたい」との意見をいただきました。講演を聞くことで、こうした意見を頂けることに感謝しながら、自分の取り組みについて改めて考えていきたいと思います。

(さわやかテラス春日責任者 長野 太一)



(さわやかテラス二日市 古賀 伊織)

統括責任者 平原 由香



## 【災害時広域相互支援協定】

熊本地震から三年、約三十年続いた平成から新しい元号に変わります。平成を振り返ると、全国で様々な大規模災害がありました。

被災からの教訓として、「備え」の重要性が高まり、今まで以上に自助・互助が大切と感じます。



二月十三日セラピューティックのスキルアップ研修を受けました。

日頃は、お年寄りに合わせて寝たままやソファーに座つたまま手や足の施術をする事が多く、椅子に座り直していただいて肩や背中の施術をする事が減っています。お年寄りも「わあ、気持ち良かつた」と喜んで下さり、安心できました。

二日市の事業所では、みとつお年寄りにすぐセラピューティックを行つてみると、少し浮腫みがあつたのが、ケアを行つてすっきりした体になられたという話を聞きました。先生はその話を聞き、「こなられた方に施術をしたのは初めて聞きました。綺麗な体でご家族に会えるのはとても良いですね」と仰つていました。

セラピューティックをするだけで体が暖かくなり、安心され、浮腫みも和らぐ。色々な効果がありとても良いケアだと改めて感じることが出来ました。今回

の研修で聞いたエピソードや考え方を取り入れながら、今後も利用者の方へのケアに役立てていきたいと思います。

## 【認知症サポートーー養成講座】

春日市地域密着型サービス部会の活動の一環として、学校での認知症サポートーー養成講座に参加させていただいています。去年十二月は、天神山小学校、一月には白水小学校、不登校児の支援をする、教育支援センターにも伺いました。

授業の一コマを使っての講座のため、内容は簡潔に、かつ分かりやすくおばあちゃんや子供役に扮して寸劇を行いました。アンケートにも、お年寄りが困つたら優しく声かけしたいなどの意見があり、興味をもつて、話を聞いてくれていることを感じます。子どもたちにとつても良い機会になつていいなと思います。

(さわやか憩いの家大野城中央 川嶋 文子)



## 【セラピーティックケアスキルアップ研修】

